

## 平成28年度基礎研究医養成奨学金要項

公益財団法人 医学教育振興財団

### 1. 奨学金の目的

基礎医学研究は医学・医療の基盤であり、基礎研究医は、医学部学生への教育や、基礎から臨床への橋渡し研究においても重要な役割を果たしている。

しかし、近年、若手医師の臨床志向等に伴い、基礎医学研究に進む医師が減少し、将来の我が国における医学教育・研究の質の低下が懸念されている。

そのため本事業では、各大学が実施する基礎研究医養成プログラム（コース）に在学する学生に対し奨学金を支給することより、我が国の医学・医療の高度化の基盤を担う優れた基礎研究医の養成に資することを目的とする。

### 2. 申請資格

申請対象者は次の要件をすべて満たしていること。

- (1) 研究医養成のための入学定員増を行った大学に在学する者
- (2) (1)の大学で実施する基礎研究医養成プログラム（コース）を履修する4年次から6年次までに在学する者
- (3) 当該大学の基礎研究医養成のための奨学金を受けていない者
- (4) 他の団体等から返済義務のない奨学金を受けていない者

### 3. 奨学金の種類

給付の奨学金とし、返還の必要はない。

### 4. 募集人数（平成26年度から10年間実施予定）

8名（4年次、5年次、6年次）

### 5. 支給期間

平成28年4月1日から1年間（希望者は審査の上、延長を認めることができる。）

### 6. 支給金額

月額 10万円（年額120万円）

### 7. 支給方法

財団から大学に年額（120万円）を一括交付

大学から学生に支給

## 8. 申請手続

各大学は、奨学金に関する委員会等において候補者を選考し、責任をもって財団へ推薦（1大学1名）する。次の書類を平成28年12月2日（金）までに提出すること。

- (1) 基礎研究医養成奨学金申請書（様式1）
- (2) 基礎研究医養成プログラム（コース）志望理由書  
（A4判12ポイントで1200字程度）
- (3) 学部長等の推薦書

## 9. 選考及び決定

各大学から推薦された候補者について、当財団の審査委員会の審査を経て理事長が決定する。

## 10. 奨学金の支給打ち切り

次の各号のいずれかに該当すると認められたときは、奨学金の支給を打ち切るものとする。

- (1) 退学（死亡を含む）したとき
- (2) 基礎研究医養成プログラム（コース）を履修しなくなったとき
- (3) 心身の故障のため修学の見込みがなくなると認められるとき
- (4) 学業成績が著しく不良となったと認められるとき
- (5) その他、奨学金支給の目的を達成する見込みがなくなると認められるとき

## 11. 奨学金の返還

奨学金の支給打ち切りを行った後の残額は、大学から財団へ返還するものとする。

## 12. その他

この要項に定めるもののほか、各大学における奨学金の支給に関し必要な事項は各大学が定める規程等によるものとする。

## 13. 問い合わせ先

公益財団法人 医学教育振興財団

〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-15

御茶ノ水HYビル（茶州ビル）7階

電話 03-3815-3895 ファックス 03-3815-3896

(様式 1)

## 基礎研究医養成奨学金申請書

平成 年 月 日

ふりがな 氏 名	印
生 年 月 日	年 月 日 (満 歳) 男・女
住所及び電話番号	〒 電話: 携帯電話:
保護者氏名	(続柄)
保護者住所及び電話番号	〒 電話:
所属 大学	大学医学部医学科 第 学年
所属 大学 住所	〒
担当課及び担当者	担当課: 担当者: 電話: Eメール:
提出書類 1. 基礎研究医養成奨学金申請書【本表】 2. 基礎研究医養成プログラム(コース)志望理由書【様式任意】 3. 学部長の推薦書【様式任意】	

# 家 庭 調 査 書

申請者	所属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____									
	学籍番号	_____	性別 男・女								
	フリガナ	_____									
	氏名	_____	_____								
		課程 _____	研究科 _____								
		専攻 _____ 年次 _____									
		現住所	〒 _____ TEL ( _____ )								
		家族住所	〒 _____ TEL ( _____ )								
家族及び所得	続柄	氏名	年齢	職業	在職期間	勤務先名称	給与所得の収入金額(税込)	給与所得以外の所得金額			
	就学者を除く家族	父				年		万円	万円		
		母					年	万円	万円		
			父または母 死亡・離別の場合 時期 ( 年 月 ) 理由 ( )								
			主たる家計支持者無職等の場合 時期 ( 年 月 ) 理由 ( )								
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
	別居者に 家計支持者に○×印	続柄	氏名	年齢	学校名	設置者別	学校種別	通学別	控除額		
就学者		本人		筑波大学	国立		※自宅 自宅外	万円			
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)	※自宅 自宅外	万円			
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)	※自宅 自宅外	万円			
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)	※自宅 自宅外	万円			
家庭の 特殊事情	特別控除項目		控除有無								
	障害者がいる世帯		※有・無	続柄 ( ) 氏名 ( ) 手帳番号 ( )				万円			
	その他										
本人の 状況	家庭からの給付	月額 ( 千円 )					認 定				
	アルバイト	月額 ( 千円 ) 内容 ( )					総収入金額	① 万円			
	奨学金	受給中	月額 ( 千円 ) 団体名 ( )					必要経費	② 万円		
		申請中	月額 ( 千円 ) 団体名 ( )					特別控除額	③ 万円		
	その他の収入	月額 ( 千円 ) 内容 ( )					総所得金額	④=①-②-③ 万円			
学業 成績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平均値	収入基準額	世帯人数	人
		大学(院)	A	-	B	C	-			⑤	万円
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100	

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。  
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。  
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。  
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。  
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)  
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者がいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。  
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。